

極早生温州がまもなく収穫期に入ります。減酸、食味を確認し、着色の進んだ果実から順次収穫しましょう！

また、早生温州は樹上選果を進め、収穫に備えましょう。

1 令和6年9月の気象

令和6年9月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は全体的に平年より高く、特に第2～4半旬は著しく高かった。月平均気温は26.7℃で、平年より3.0℃高く、前年と同程度であった。

降水量は第1半旬に68.5mmを記録し、第6半旬は平年並み、それ以外では平年より少雨であった。月合計は141.0mmで平年比64%、前年比47%と少雨傾向であった。

日照時間は第2～4半旬が平年より多く、それ以外は平年並または少なかった。月合計は196時間で、平年比128%、前年比102%であった。

9月は全体的には平年と比べて気温は高く、降水量は少なく、日照時間は平年より多かった。

表1 令和6年9月の気象（アメダス館山測候所）

半旬	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	26.7	25.7	27.8	68.5	28.0	26.5	22	30	39
2	27.9	25.2	26.0	2.5	36.3	263.0	52	29	15
3	28.8	24.3	27.0	8.0	38.5	0.0	50	27	44
4	28.3	23.3	28.3	17.0	39.1	0.0	41	25	47
5	24.9	22.3	24.8	1.5	39.5	4.0	26	22	15
6	23.7	21.4	25.9	43.5	40.4	4.5	5	21	33
平均/計	26.7	23.7	26.7	141.0	221.8	298.0	196	153	192

※暖地園芸研究所の気象観測装置の不具合により、アメダス館山測候所データを引用

2 果実及び樹の生育

10月1日における調査園の果実生育状況を表2に示した。横径は「日南1号」が6.7cmで平年比100%であった。「興津早生」、「大津4号」、「青島温州」が3地区の平均でそれぞれ5.9cm、6.3cm、6.3cmで、平年比でそれぞれ100%、100%、102%であった。

縦径は「日南1号」が5.0cmで、平年比100%であった。「興津早生」、「大津4号」、「青島温州」が3地区の平均でそれぞれ4.9cm、4.7cm、4.8cmで、平年比でそれぞれ102%、100%、100%であった。

果形指数は、「日南1号」が1.3、「興津早生」、「大津4号」、「青島温州」が3地区の平均でそれぞれ1.2、1.4、1.3であった。いずれの品種も平年並みで、前年と比べると「日南1号」、「興津早生」、「青島温州」はやや扁球傾向である。

病害虫では、ミカンハダニ、ヤノネカイガラムシの発生が散見される。また、日焼け果の発生が散見される。

表2 果実の生育（令和6年10月1日）

品 種	調査地	横 径(cm)			縦 径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
日南1号	暖地園研	6.7	6.7	6.4	5.0	5.0	4.7	1.3	1.3	1.4
	三芳地区	5.9	5.9	5.5	5.0	4.8	4.2	1.2	1.2	1.3
	千倉地区	6.0	5.8	7.1	4.9	4.7	5.7	1.2	1.2	1.2
	暖地園研	5.9	6.0	6.2	4.8	4.9	4.8	1.2	1.2	1.3
	平 均	5.9	5.9	6.3	4.9	4.8	4.9	1.2	1.2	1.3
興津早生	三芳地区	6.2	6.2	5.8	4.8	4.7	4.4	1.3	1.3	1.3
	千倉地区	6.3	6.4	6.4	4.5	4.6	4.5	1.4	1.4	1.4
	暖地園研	6.5	6.4	7.2	4.7	4.7	5.0	1.4	1.4	1.4
	平 均	6.3	6.3	6.5	4.7	4.7	4.6	1.4	1.4	1.4
大津4号	三芳地区	6.5	6.1	5.9	4.9	4.8	4.4	1.3	1.3	1.3
	千倉地区	5.9	6.2	6.5	4.4	4.7	4.7	1.3	1.3	1.4
	暖地園研	6.6	6.3	6.8	5.0	4.8	4.9	1.3	1.3	1.4
	平 均	6.3	6.2	6.4	4.8	4.8	4.7	1.3	1.3	1.4
青島温州	三芳地区	6.5	6.1	5.9	4.9	4.8	4.4	1.3	1.3	1.3
	千倉地区	5.9	6.2	6.5	4.4	4.7	4.7	1.3	1.3	1.4
	暖地園研	6.6	6.3	6.8	5.0	4.8	4.9	1.3	1.3	1.4
	平 均	6.3	6.2	6.4	4.8	4.8	4.7	1.3	1.3	1.4

注1) 各地点の各品種の値は40果の平均

2) 果形指数は横径/縦径

3) 平年は平成6年～令和5年の直近30か年の調査データの平均値

3 「日南1号」の果実品質

「日南1号」の果実品質を表3に示した。

着色程度は平年よりやや進んでいる。糖度は前年より低く、平年よりやや低い傾向であった。酸度は平年及び前年より高かった。そのため、甘味比は平年及び前年より低い。果肉歩合は平年及び前年と同程度であった。

着色程度に比べ酸度が高い傾向であるので、収穫に向けて食味及び減酸の確認を徹底すること。

表3 極早生温州「日南1号」の果実品質（令和6年10月1日）

調査地	着色程度 (0~10)			糖 度 (%)			酸 度 (%)			甘味比			果肉歩合 (%)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
暖地園研	3.9	3.5	4.7	8.1	8.5	9.6	1.24	1.03	0.90	6.9	8.7	11.2	85.3	85.5	85.8

注1) 平年は平成28年～令和5年の調査データの平均値

2) 甘味比=糖度/酸度

3) 果肉歩合=(果肉重/1果重)×100

4 10月の栽培管理

(1) 極早生温州の収穫

着色の良好な果実から順次収穫していく。収穫時のハサミ傷や落果は収穫果実の腐敗の大きな要因となるため、果実は丁寧に扱う。収穫直後の果実は果皮の水分が多いので予措を行う。コンテナに果実を7分目ほど入れ、風通しのいい日陰に2～3日置くと、果皮がしなやかになり、選果や出荷時の傷果の発生予防になる。

(2) 早生温州の樹上選果

収穫1ヶ月前の10月上～中旬に、傷果や裂果、病虫害被害果などの商品価値のないものを取り除き、収穫、運搬及び選果の労力を軽減する。

(3) 浮皮症の軽減対策

収穫期に降雨等で過湿条件になると浮皮症が発生しやすいので、防風垣を刈り込んで通風を良くし、排水対策を講じて園地の乾燥に努める。

(4) 秋肥

早生温州では11月上旬、普通温州では11月中旬に、ともに窒素、りん酸、加里をそれぞれ10a当たり分量で6、4、6kg追肥する。秋肥は適期に施用することが重要で、早すぎると着色の遅れや浮皮果が生じ、逆に遅すぎると低温のため吸収が悪くなる。乾燥の影響で樹勢が低下した樹には、収穫後直ちに液肥を散布する。

(5) 病虫害の防除

10月中旬～11月上旬には、貯蔵病害である青かび病及び緑かび病の防除のため、殺菌剤の散布を行う。

ミカンハダニやカメムシ類は発生に応じて防除を行うが、極早生温州等の収穫を間近に控えた品種では、農薬の使用基準にある収穫前日数に注意する。

カメムシ類の防除は活動が活発になる夕刻に行うと効果的である。合成ピレスロイド剤は比較的残効性が長く、効果が高いが、天敵類に及ぼす影響も大きく、カイガラムシ類やハダニ類の発生が助長されるので注意する。

※農薬の登録内容は変更になる場合があるため、農薬使用の際は最新情報を確認する。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある。

《 生育情報の発行元 》千葉県農林水産部生産振興課

《 生育情報の問合せ先 》千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室

電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>